

Course number		U-LAS03 10002 SB48							
Course title (and course title in English)		外国文献研究（文・英）A-E1 Readings in Humanities and Social Sciences (Letters, English)A-E1			Instructor's name, job title, and department of affiliation		Graduate School of Letters Professor,KANAZAWA SHUUSAKU		
Group		Humanities and Social Sciences		Field(Classification)		Readings in Humanities and Social Sciences			
Language of instruction		Japanese		Old group		Group C		Number of credits 2	
Number of weekly time blocks		1	Class style		Seminar (Face-to-face course)		Year/semesters		2024・First semester
Days and periods		Tue.2		Target year		2nd year students or above		Eligible students For liberal arts students	
[Overview and purpose of the course]									
<p>人文系の諸学問を学ぶ人のための英語文献講読</p> <p>英書を読みながら、人文学に特有の用語・概念・文体に接し、英語文献の読み方を学習する。</p> <p>テキストとしては、Barbara H. Rosenwein & Riccardo Cristiani, What is the History of Emotions? (Polity, 2018)を使用する。本書は、近年盛り上がりを見せている「感情史」に関する、コンパクトで目配りの行き届いた入門書である。感情を「歴史する」とはどういうことで、それにはどのような現代的な意義があるのかを、本書を通じて考え深めてほしい。この授業では、本書を訳読する。</p> <p>本授業の主たる目的は、人文系の英語文献の読み方に習熟することにある。</p>									
[Course objectives]									
<p>ある程度の分量の英語を、早く、正確に読む。テキストを読み進むことによって、西洋世界を中心に発展してきた保守主義やその周辺の政治的な思潮・立場の特質やその変遷について、基本的な知識を身につける。基本的な人文学の方法を身につける。</p>									
[Course schedule and contents]									
<p>人文学に関する英語の文献を読み、研究に必要な語彙や概念について基礎的な知識を身につける。</p> <p>授業は、訳読を中心に進める。毎回、履修者名簿からランダムに指名して訳してもらう。</p> <p>テキストは本文125頁程度であるが、授業では、このうちの前半を、14回に分けて読み進む。また、たんに英語を日本語に置き換えてよとするのではなく、内容を理解し、主体的に思考を深めていってほしいと考えているので、簡単なレポートを1回課す。</p> <p>第1回 「感情」を歴史学的に考える 第2回～第6回 序章 を読む 第7回～第10回 第1章 科学 を読む 第11回～第14回 第2章 アプローチ を読む 第15回 期末試験 / 学習到達度の評価</p> <p>フィードバック方法は別途連絡します。</p>									
Continue to 外国文献研究（文・英）A-E1(2)									

外国文献研究（文・英）A-E1(2)

[Course requirements]

本授業は、人文系の英語文献の基礎的な読解力を有する学生の履修を前提とするため、2回生以上を対象とする。

[Evaluation methods and policy]

授業中の訳読（30％）、レポート（30％）、および期末試験（40％）によって評価する。

[Textbooks]

Barbara H. Rosenwein & Riccardo Cristiani 『What is the History of Emotions?』（Polity）ISBN: 9781509508501（ペーパーバック版）

[References, etc.]

（References, etc.）

Introduced during class

[Study outside of class (preparation and review)]

訳読が中心になるので、進度に応じてしっかり予習をすること。また、レポートは復習を兼ねているので、最後にまとめてやるのではなく、講義期間中に適切にこなしていくことを求める。

[Other information (office hours, etc.)]

・とくに予備知識は必要としません。

・履修定員を45名とし、履修人数制限を行うため、履修を希望する者は履修人数制限科目申込期間にKULASISから申し込むこと。

なお、以下の条件順で抽選を実施し、履修を許可する。

- 1．文学部の4回生（所属系は問わない。）
- 2．文学部歴史基礎文化学系および基礎現代文化学系の2・3回生
- 3．上記系以外の文学部2・3回生
- 4．文学部以外の学生